

第28回
那須地区 郷土芸能 フェスティバル

開会式 10:30 ~ 10:50

参加团体

10:50 那須塩原市 那須野ヶ原疏水太鼓保存会
子ども疏水太鼓実行委員会

11:20 那須町 峯岸熊野講保存会

11:45 大田原市 那須神社獅子舞保存会

12:10 那須塩原市 東那須野おはやし保存会

12:45 大田原市 黒羽餅つき唄保存会

13:10 那須塩原市 関谷子供囃子保存会

13:30 大田原市 黒羽太鼓保存会、黒羽高校太鼓部

閉会式 14:00



入場無料

大田原市

那須神社獅子舞保存会

那須町 峯岸熊野講保存会

那須塩原市

東那須野おはやし保存会

黒羽太鼓保存会、黒羽高校太鼓部

大田原市

伝統
文化に
ふれる

関谷子供嚙子保存会

那須塩原市

第28回 那須地区

黒羽餅つき唄保存会

大田原市

那須野ヶ原疏水太鼓保存会

子ども疏水太鼓実行委員会

那須塩原市

日時

2026年 11月 7日(土)

午前10時30分～午後2時

場所

宇都宮共和大学那須キャンパス

那須塩原市鹿野崎 131

なすしおばら
まなび博覧会と
同時開催予定

小雨決行(荒天中止)

【問合せ】那須地区郷土芸能フェスティバル実行委員会事務局(那須塩原市教育委員会事務局生涯学習課) TEL.0287-37-5419
主催／那須地区文化協会・那須地区郷土芸能フェスティバル実行委員会

第28回 那須地区

郷土芸能 フェスティバル

出演団体プロフィール一覧

① 団体紹介 ② 演目紹介

那須塩原市

那須野ヶ原疏水太鼓保存会 子ども疏水太鼓実行委員会



① 那須野ヶ原疏水太鼓は、西那須野町(現在の那須塩原市西那須野地区)の開拓100年を記念して、地域に新たな郷土芸能をつくろうと企画・創作され1983年に発足しました。日本三大疏水のひとつ、那須疏水の開拓の歴史を5曲の組曲で太鼓の音と動きで表現しています。

これまで地域の催しをはじめ、国内外での演奏も経験してまいりました。「100年続く郷土芸能を」という気持ちで応援してくださる皆様と和太鼓を演奏する機会に恵まれている事に感謝し、日々練習を積み重ねています。

② 那須野ヶ原
那須野ヶ原の大地は明治の初めまで、那須山から吹き下ろす強風で砂塵を巻き上げ、木々をなぎ倒し、水もなく何人をも受け入れない不毛の原野でした。その光景を太鼓の音と動きで表現しています。

ふれあい太鼓
この曲是那須野ヶ原疏水太鼓保存会発足20周年を記念して、西那須野地区で行われる夏祭り(ふれあいまつり)にちなんで「ふれあい太鼓」と命名されたもので、明るく勢いがあり、曲中には勇ましい掛け声も入っている曲です。

那須町

峯岸熊野講保存会



① 現在は地区公民館で当番2名を決め、朝10時頃から千本杵で餅搗きを行います。近年は、町公民館等の行事に参加・披露しています。

② 峯岸熊野講餅搗き:明治生まれの人が、子どもの時分からとかずっと前からやっていたという。年代の詳細は不明だが、当地区の熊野信仰は、峯岸熊野神社に奉納された鰐口の銘記(寛永年代)によると古くから信仰していたことが分かる。熊野神社(山形県南陽市宮内熊野大社)参詣の講を立て代参参詣するとき餅を奉納したことに始まると伝えられている。この餅つきは、千本杵餅つきで、準備から餡子(あんこ)、餅搗(もちつ)きまで女性の手出しは禁じられ一切男性が行うことになっている。またその年にお産があった家の男性は参加できない。当番(男宿)の女性でも見ることもできないとされた。杵(きね)はそれぞれ自分の山からその年の新しい木(くり、なら)を伐って16本作る。長さ約1.8m、直径4～5cm、下のほう60cm位皮を剥く。以前には、当番(男宿)へ男性1人糯米(もちこめ)5合、女性2号5勺を持ちよるとされた。かまどの周りに注連縄(しめなわ)を飾り、男性は神主のお払いを受ける。子供は宿に泊まり、早朝米が吹き上がったことを各家に知らせに行く。その知らせを聞いて男性が集まり搗きはじめ、餅搗き唄で調子を取り、数人で搗きあげ日の出には終わる。最後の一臼は、どうずき餅といって杵の先に餅を付け支えながら掛け声をかけ女性宿へ運び神棚前の掛け軸に付けるようにしてお供えする。つきたての餅は、桶に入れられ水切り餅として、男宿、女宿に運ばれ手でちぎり塩味の餡子餅をお椀によそってもらい食する。重箱に入れ親戚に配った。終わりに子供らが餅、杵、注連縄を熊野神社へ奉納し、集落の繁栄、無病息災、五穀豊穡を祈願したという。

大田原市

那須神社獅子舞保存会



① 那須神社の獅子舞の起源については定かではありませんが、大関増清が応永年間(1394～1428)に余瀬に白旗城を築城した際に敷地地鎮の地固めとして演じられたことが始まりと伝えられています。その後金丸八幡宮、現在の那須神社と大宮温泉神社の両社に寄進されました。金丸八幡宮は黒羽城主大関氏が代々崇敬してきたところであり、9月15日例大祭(現在は9月敬老の日)には城主自らが崇拝し、舞を鑑賞したといわれています。

② 現在は氏子の安全と豊穰を祈るものとして笛とササラの演奏に合わせて3頭の獅子(雄2頭、雌1頭)が小鼓を打ちながら舞います。その舞は素朴ながらも力強く勢いがあることを特徴としています。

那須塩原市

東那須野おはやし保存会



① 東那須野おはやし保存会は盆踊りを行うため昭和55年に結成しました。その後、東那須野おはやし保存会が結成されやぐら太鼓が出来ました。那須塩原市で巻狩り祭りを行うようになり、山車の上で出陣式に叩く曲、大鍋の曲ができました。後継者を育成するために平成17年に東那須野子供おはやしクラブが出来ました。大原間小学校、波立小学校にチラシを配布し、20名からの参加で始まり、コロナ前は36名と多くの子供達が練習をし、出演依頼にも多く出かけていました。現在は演奏曲も増え地区盆踊り、開拓まつり、公民館祭り等が発表の場となり、小学生から高校生が参加しています。

② ○躍動:前奏曲で、これから始まる太鼓演奏を盛り上げるための曲です。
○大将鍋:今から出陣しますという曲です。
○山彦2段返し:那須山に向かって呼びかけ、帰ってくるような曲です。
○那須おろし:那須岳から吹き下ろしてくる強い風にも向かっていく力強い曲です。
○やぐら太鼓:盆踊りの曲で、笛・鉦・歌に合わせて踊る様子が浮かびます。

大田原市

黒羽餅つき唄保存会



① 生活環境が大きく変化し、昔からの風習も消滅しつつある中、北滝地区に歌い伝えられていた餅つき唄を黒羽餅つき唄とし、有志により保存会を結成されました。

② 黒羽餅つき唄:餅つき唄は、長年、米寿などの祝い事で、千本杵で餅をつきながら歌った祝い歌です。北滝地区で伝承によれば、明治時代に、熊野山への参拝者が無事帰還したことを祝って村人たちが餅をつき振る舞い盛大に行なったこともあるといえます。大田原市指定無形民俗文化財に指定されています。



那須塩原市

関谷子供囃子保存会



① もとととの大人の保存会もあるが、平成5年10月に子供の保存会も結成し今年で31年目。

お囃子は江戸時代末期に江戸から当地域に伝った。夏の天王祭の山車運行や特設ステージで、大人の保存会とともに参加している。現在会員は小学生から中学生まで計26名・毎週1回夜公民館で練習している。公演活動は祭の外に道の駅や公民館などの各種イベントに出演している。保存会の活動の外学校のクラブ活動にも取り入れている。関谷囃子は市の無形民俗文化財指定。

② ○シチューメ:山車運行の際のメインの曲
○宿場囃子:関谷宿のオリジナル曲
○早渡り:山車の回転の際の曲
○ヒョットコ:ヒョットコ踊りの際の曲
○大杉囃子:笛の音がきれいな曲

大田原市

黒羽太鼓保存会 黒羽高校太鼓部



① 黒羽太鼓は、昭和55年(1980年)栃の葉国体の時に創設されました。大田原市の祭りイベントのほか、県内のホテルのイベントなどの依頼演奏会に参加しています。黒羽高校黒羽太鼓部は、黒羽太鼓の指導者の下で、週2～3日黒羽城址公園で練習に励んでいます。黒羽あじさい祭りや学校文化祭、全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門に参加出演をしています。黒羽太鼓は昨年45周年を迎え、5月にピアートホールにて、記念演奏会を黒羽太鼓保存会と黒羽高校太鼓部の合同演奏会で盛大に行われました。今年からは心機一転皆様に、聞いて、見て、楽しんでいただける演奏を目指して、地域活性化の一助となるべき様に精進してまいります。

② ○清流鶴黒太鼓:黒羽の円と、町の中央を流れる那珂川の清流に託し、行進曲として、力強い黒羽の前進を現した曲です。
○余一射掛太鼓:文治元年2月、屋島の戦いに東武士の榮譽を一身に担って扇の的を見事に射止め、敵味方歓喜する様を表現した曲です。
○大頭龍権現太鼓:三県に跨る故郷の山、八溝山に伝わる怪奇岩岳丸の伝説を基に、三楽章構成に作曲された創作太鼓です。